

セッション3<第1分科会>記録

「特別支援学校及び特別支援学級の教育課程の現状と課題～課題の整理と今後の方向性を考える～」

研究報告1

柘植 雅義 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員)

実践報告1

西村 美貴 氏 (青森県立八戸第一養護学校教諭)

北村 宏美 氏 (香川県立香川中部養護学校教諭)

研究報告2

小林 倫代 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員)

実践報告2

山本 哲也 氏 (福井県福井市清水東小学校教諭)

まとめ

原田 公人 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員)

司会

長沼 俊夫 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所総括研究員)

第1分科会では、まず、司会の長沼俊夫総括研究員より、本分科会の流れの説明と話題提供者の紹介がなされ、次に、研究代表者の原田公人上席総括研究員より本分科会の趣旨説明がなされた。その後、前半に研究報告1及び実践報告1が、後半に研究報告2及び実践報告2が行われた。

<研究報告1及び実践報告1と質疑応答>

柘植雅義上席総括研究員から、特別支援学校における教育課程編成及び実施の現状と課題について、①教育課程の類型やコース制、②複数障害種に対応する特別支援学校における教育課程編成、③高等部の職業課程、④交流及び共同学習の教育課程の位置づけ、⑤自立活動と他領域及び各教科の教育課程編成上の関連、の五つの事項ごとに検討され、その重要性が認識できたことが報告された。西村美貴氏からは、多様な児童生徒の実態に応じた教育課程について報告がなされた。北村宏美氏からは、高等部における教育課程の類型制の取組について報告がなされた。

参加者からは、特別支援学校における教育課程編成について、自立活動の教科等への関連付け、指導内容の精選、指導内容を教員間で検討するシステム作り等、現在の課題に関する意見が出された。また、教育課程の類型を校内で変える時の手続きとその際にどのように保護者の理解を図るかについての質問が出され、校内委員会で検討し、保護者には趣旨を説明するとともに十分に話し合いながら進めている旨の応答がなされた。最後に、柘植上席総括研究員より各学校の教育課程改善の取組の重要性が提言された。

<研究報告2及び実践報告2と質疑応答>

小林倫代上席総括研究員から、特別支援学級における教育課程編成及び実施の現状と課題について、①教育課程の内容・方法に関する課題と工夫、②学級組織や運営面の課題と工夫が報告された。山本哲也氏からは、特別支援学級における教育課程に関する課題と取組の実際について報告がなされた。

参加者からは、特別支援学級における教育課程編成について、特別支援学級の教育課程が前年度を踏襲する形で編成されることが多いこと、特別支援学級の担任が特別支援学校の学習指導要領の理解を深める必要があること、特別支援学級の教育課程について保護者の理解が十分に得られない現状が

あること等、現在の課題に関する意見が出された。また、交流及び共同学習の実施に関して通常の学級との調整にかかる質問が出され、特別支援学級の場合、時間割の調整が難しい現状があるが、管理職や他の職員の協力を得て時間を調整している等の応答がなされた。

<まとめ>

原田上席総括研究員より、本分科会で示された特別支援学校、特別支援学級における現状と課題について整理し、今後本研究を次の学習指導要領改訂の基礎資料としたい旨述べられた。

(以上、要項 P.18 参照)